

「ピラミーデ（ピラミッド・メソッド）認定園研修会」

三重県四日市市あおい幼稚園

子どもたちは変わった！

幼稚園でピラミーデ(ピラミッド・メソッド)を導入しておられます。400人を超える大きな規模の幼稚園ですが、子どもたちが自主的に動き始めていると園長先生は実感を込めて話されました。

今年の卒園式でハッとしたのは、子どもたちの動きが違うことに気づかれたからです。

これまではもぞもぞしたり、隣の子どもにちょっかいを出したり、じっとして話を聞いている子どもは少なかったのですが、今年の子どもたち、今、自分は何をしているのか分かっていると感じたそうです。全員が静かに聞いている訳ではないが、

今は、じっとしていなければいけないことを知っている。

ピラミーデ（ピラミッド・メソッド）のシステムが効果的なのは、幼稚園全体が同じ流れで動いていることです。

あおい幼稚園の玄関先に国際ピラミーデ公認のプレートが掲げられています。



保護者の方が「この看板は何？」とたずねられるので、「オランダ生まれの幼児教育法を導入している証明です」と話すと保護者はうれしそうな表情をされるそうです。

我が子がオランダ生まれの教育を受けているので喜ばれるそうです。

保育室の入口は子どもをむかえ入れる準備がされています。



あおい幼稚園の子どもたちが自主的に行動できる秘密は、先生の指示がなくても子どもたちは、自主的に動けるように工夫されているからです。



先生方は出席の点呼はしません。

子どもたちが自分でシールを貼ることで幼稚園に来たと言う意識を持ちます。

あおい幼稚園は2歳児から受け入れておられますが、2歳児も少し手伝ってあげれば自分

でシールを貼れるそうです。

クラスの子どもたちの全員の顔写真です。



私物入れには子どもたちの顔写真が貼られています。迷うことなく自分の持ち物は自分の棚にいきます。



保育室の入口には、今日の遊びのテーマと場所がパネルに描かれています。子どもたちは自分の遊びたい場所を自分で選びます。



女の子が大好きな姿見のあるごっこ遊びの場所です。



台所は女の子に限らず男の子にも人気があるそうです。



今月の遊びのテーマ「春をさがそう」が子どもたち仁分かりやすく掲示されています。



テーマ遊びで使う絵本が目につくところに置かれています。



バス当番の先生が部屋にいません。先生が帰ってくるまで遊んで待っていいてくださいと言うメッセージが掛けられています。子どもたちはちゃんと遊んでいるそうです。(隣の部屋の先生が安全に注意を払っています。)



ピラミーデの特色は子どもたちが毎朝サークルタイムと呼ばれ、互いの顔を見合わせて先生の話を受けます。子どもたちが登園して来ると、既に椅子が丸く並べられています。小学校で一番大切にされているのがショートホームルームですが、ピラミーデの教育で育った子どもは、ホームルームでもじっと話を聞く習慣が身についていると言われています。



使ったおもちゃは元の場所に戻しやすいように、棚にはおもちゃの絵が貼られています。



今月はこのようなテーマで遊びましたと言う保護者向けのプレゼンテーションです。

